

京都新聞

お楽しみ 子どもシアター

in 滋賀

京都新聞社会福祉事業団では、
京都・滋賀の皆さまをはじめ、多くの人々の支援で
社会福祉の推進のために取り組んでいます。
今回は子育て支援事業のひとつとして、
子どもたちに楽しいひとときを過ごしてもらおう催しに
500人を無料招待(要入場券)します。

影絵人形劇団むむのこ

とき **2024年1月27日(土)**
午後1時30分～3時／開場は午後1時

ところ **守山市民ホール**(守山市三宅町125)

対象 滋賀県・京都府に在住の子どもたちと保護者
500人を招待します。

催し 影絵人形劇団むむのこによる「いちまいの紙でおはなし」や
「スクリーンを使って光と影であそぼう!」、「光る影絵」などの公演。

会場の案内図



JR守山駅からバスをご利用の場合は、「守山市民ホール前」で下車。
(守山駅から徒歩の場合:約30分、バス利用の場合:7～18分)

申し込み
方法

はがきに保護者と子どもの名前(参加申込者全員)、
年齢、郵便番号、住所、電話番号、参加希望人数を明記し
〒604-8577 京都新聞社会福祉事業団「子どもシアター」係へ。
※1家族につき1通。子どもだけの入場はご遠慮ください。

問い合わせ

京都新聞社会福祉事業団 ☎075-241-6186 (午前9時半～午後5時半、
土・日祝、12/29～1/3を除く)

締め切り

定員になりしだい締め切ります。招待者には入場券を送ります。

主催 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、京都新聞

ごあいさつ

わたしたちは一人の力で生きることにはできません。

京都新聞社会福祉事業団は、「ともに生きる」をテーマに、一人ひとりのいのちをたいせつに、みんなが助け合って生きる社会をめざしています。

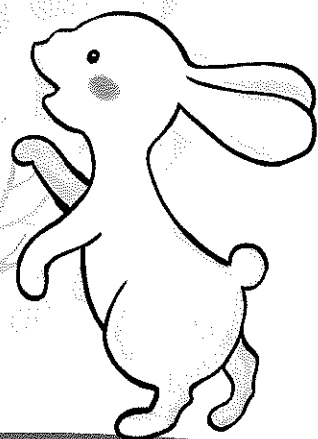
1965(昭和40)年に設立以来、京都・滋賀で、地域に密着した福祉事業を展開しています。

2010(平成22)年7月1日には、公益財団法人に移行し、皆さまからの寄付金をもとに引き続き、多くの地域福祉事業を実施するとともに、時代変化のなかで地域から要請される事業の推進に積極的に取り組んでいきます。

皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いします。

公演 プログラム

- ◎主催者あいさつ
 - ◎「むむのこ」ごあいさつと自己紹介
 - ◎いちまいの紙でおはなし
かくれんぼ
おさんぽっておいしいの？
 - ◎スクリーンを使って光と影であそぼう！など
多彩なプログラムを展開・当日のお楽しみ！
- 休憩 —————
- ◎不思議なライトを使った
ブラックライトショー・光る影絵
「トイ・サーカス」



影絵人形劇団むむのこ

<https://mumunoko.com/>



～生の劇ならではの面白さやドキドキ感を、私たちと一緒に楽しみましょう！～

1999年結成。京都を拠点に全国の劇場、また幼稚園や保育園、小学校、児童館、支援学校・地域のイベントなどで影絵・人形劇の公演、乳幼児親子プログラム(ワークショップと人形劇)などを展開。“ちがうっておもしろい！”を合言葉に、子どもたちがコミュニケーションや表現することを楽しみ、人と関わる力を育てる一助となれば…そんな思いで様々な形態の作品づくりに取り組む。人気の演目は、ブラックライトを駆使したブラックライトシアター＝“光る影絵”。この幻想的な演目は、身体・心身障がい児、者施設や病院、大学などの教育機関でも高評を受け上演の場は広がっている。

むむのこは、日本で光る影絵を専門に取り組む専門劇団です。光る影絵とは、ブラックライト(UVライト)を使用して暗闇に色鮮やかな絵人形を映し出す技法で、ファンタスティックな世界はお子様から大人の方まで幅広く楽しんでいただいております。



公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

〒604-8577 京都市中京区烏丸通夷川上ル京都新聞社内 ☎075-241-6186 FAX075-222-2515

<https://fukushi.kyoto-np.co.jp/>